

ソーシャル・インパクトが照らす未来

～健康が生み出す新たな収益フロンティアの獲得～

弘前大学 人文学部 金融論ゼミ3年

小原安珠

笠原圭織

仲谷諒

福士太陽

目次

1. はじめに
2. 私たちが直面する課題
3. 問題の特定
4. 私たちの提言
5. 期待される効果
6. 先行事例との異同
7. 将来の展望

1. はじめに

私たちは、既存の金融手法にはない、新しい制度を提言する。

「長い間、岸を見失う勇気がなければ、
新しい大陸を発見することはできない」

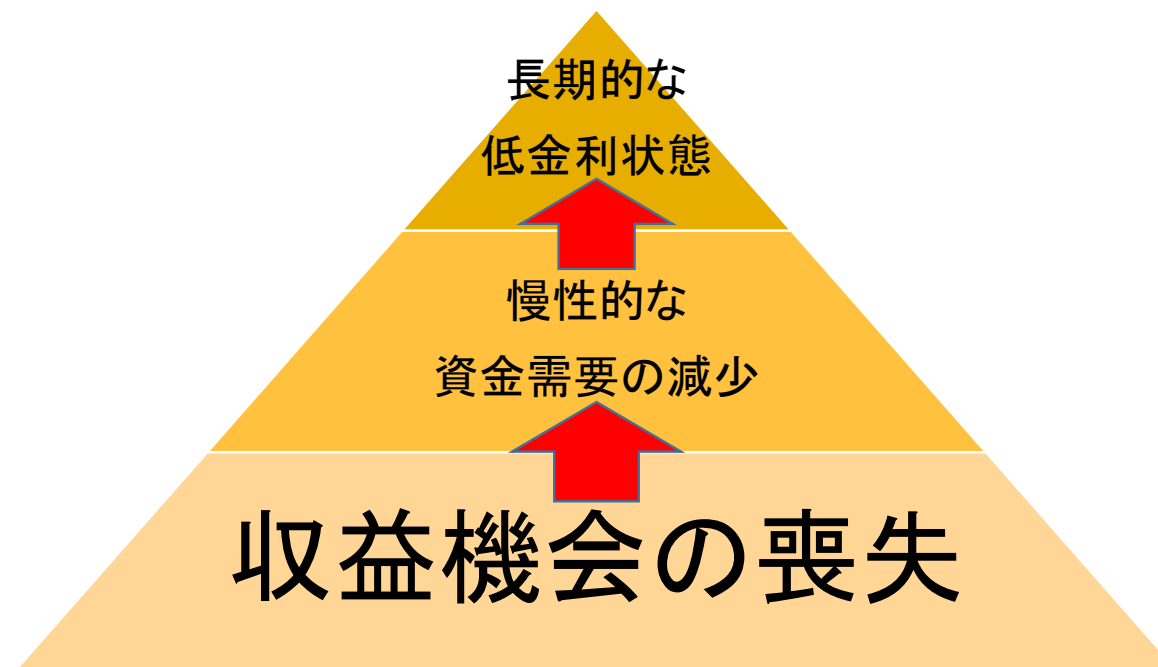
アンドレ・ジッド

2. 私たちが直面する課題

ここでの「私たち」は、「日本を含む先進国」と「弘前大学金融論ゼミ」の意味である。
私たちが抱える、「収益機会の喪失」と「中小企業健康改善の難しさ」の問題を提示する。

2-1. 日本を含む先進国が直面する問題

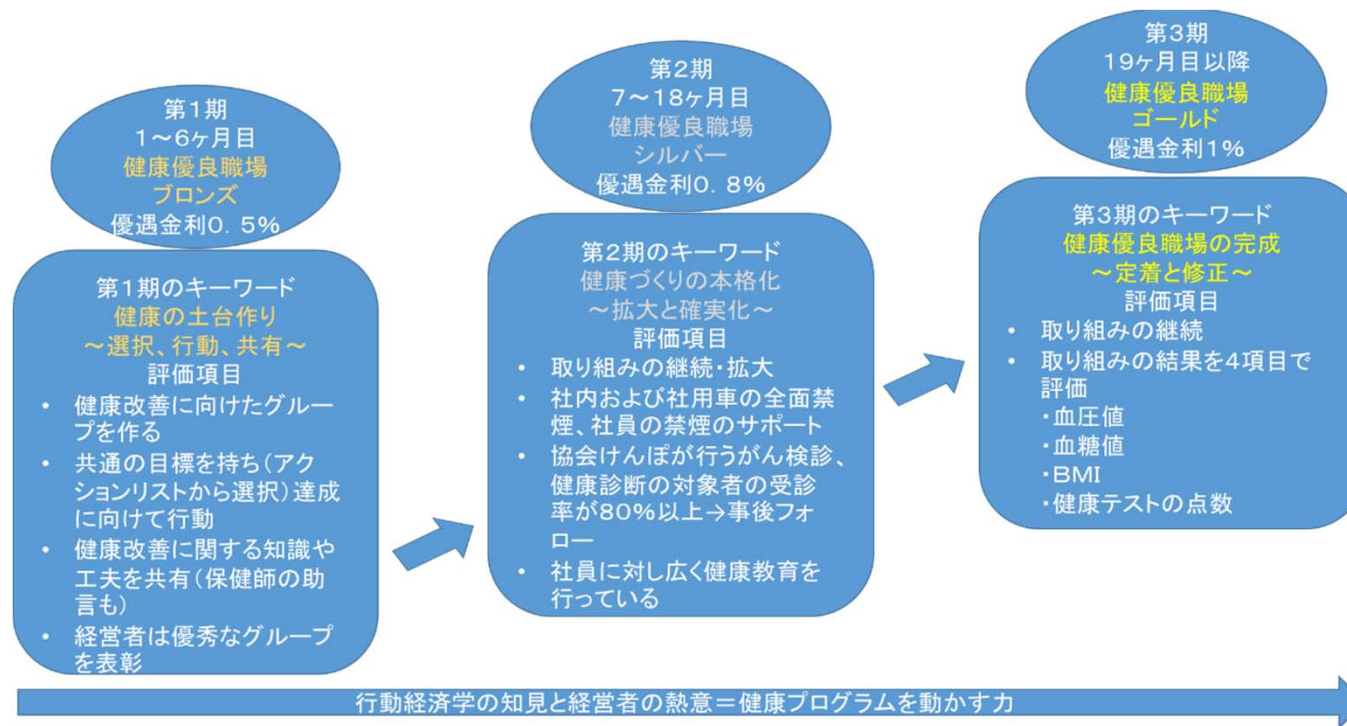
- 現在、日本を含む先進国は、低金利状態にある。
- その問題の根底には・・・「収益機会の喪失」がある。



2-2. 私たちが直面する課題

- 私たちは、**青森県の壮年期死亡率が高い**という深刻な問題を解決するために、実践的な活動を行ってきた。
- 昨年度日銀グランプリ論文「地方中小企業向け「健康プログラム」の可能性～医学(社会疫学)と行動経済学の知見をふまえて～」の提言内容を実現する方策を探った。
- 参照論文の特徴・・・土台として**ソーシャル・キャピタル(SC)**を企業内に構築、その後、健康改善を達成した企業に対し、**段階的に金利優遇**を実施する。

参照論文の特徴



出所:日本銀行HP「学生向けコンテスト『第11回 日銀グランプリ～キャンパスからの提言～』入賞論文と審査員の講評および佳作論文の要旨、地方中小企業向け『健康プログラム』の可能性～医学(社会疫学)と行動経済学の知見をふまえて～」より引用

これまでの私たちの活動内容

(1) 健康改善活動の効果を試算

① プレゼンティーズム(出勤損失)、アブセンティーズム(欠勤損失)の考え方をを用いた試算

② SROIの評価手法を用いた試算(後述)

(2) 試行実験の実施

① アクションリスト(健康改善のための運動・食事の取り組みリスト)を強化、再作成

② ①と前述した試算結果を用い、企業向けの企画書を作成

(3) 先進企業へインタビュー調査

プレゼンティーズム(出勤損失)、アブセンティーズム(欠勤損失)の試算

- 目的は、従業員の健康状態の良好性がいかに企業の生産性向上と密接に関与しているかを数値で企業に示すこと。
- 青森県内企業T社(従業員数310名、資本金4000万円、一人当たりの年収388.5万円(国税庁 H26年度民間給与実態調査より)、生産性低下率5.2%(健康日本21推進フォーラム推計))を想定し、欠勤日数は3日、出勤日数は245日(土、日、祝日を引いた値)と設定したうえで、試算を実施した。

①プレゼンティーズム(出勤損失)の試算結果

健康改善活動を通して、生産低下率を1%改善すれば・・・

年間**1204.35万円**の利益を獲得できる！

②アブセンティーズム(欠勤損失)の試算結果

欠勤損失により・・・

年間**1448万円**の損失が発生している！

→この損失額も、健康改善活動によって減少させることが可能！

試行実験の概要

- 作成した企画書をもとに、青森県庁内で1週間、青森トヨペット内で2週間、試行実験を実施した。
- 従業員をグループと個人の2つの群に分け、職場にてアクションリストの取り組みを選択・実施してもらった。
- また、取り組み前後に従業員の健康意識を図るためのアンケート調査を行った。加えて、従業員への個別インタビュー調査も実施、活動を通しての課題や効果を探った。

修正後のアクションリスト内容

運動部門		
内容	改善が期待できる項目	効果
金曜日の宿手をパタンスボールに変える	肥満 筋力	・体幹を鍛える事により基礎代謝が向上する ・通常の運動では鍛え辛いインナーマッスルの強化 ・3か月の継続により内臓脂肪が47.5%減少した例もある。
決まった時刻にラジオ体操を行う	骨密度 筋力	・15分間（ラジオ体操5回分）で57キロカロリー消費できる。（体重80kgの人の場合） ・全身運動で普段使っていない筋肉を十分に動かすため、柔軟性が向上する。 ・血行促進により肩こり腰痛にも効果がある。 ・骨に刺激を与えるので、骨密度の低下を予防する。
日々の生活で10分多く歩く	筋力 肥満	・10分で約1000歩、歩くことができる。（80キロカロリー消費） ・歩数増加にともないBMIは1000歩あたり0.08減少し、ウエスト・ヒップ比は0.15減少する。 ウエスト・ヒップ比=ウエスト(cm)÷ヒップ(cm)で求められる。男性では1.0以上、女性では0.8以上が内臓肥満・腰肥満となり、生活習慣の改善が必要。 ・歩数の増加は、肥満や糖尿病の危険性を低下させる。 ・体の柔軟性を高め、美しい姿勢の保持を促す。 ・血行促進により体温が高くなり、冷え性の予防や改善が期待できる。 ・筋が緩むことによるストレス解消効果やリラクゼーション効果がある。
毎日ストレッチを行う	肥満 血圧 便秘 生活習慣病 美容 筋トレ	・生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防として、習慣的なヨガが血圧を低下させ、虚位体前屈で柔軟性が高い人は、動脈硬化度が低いことが明らかである。
フラフラップを行う	肥満 筋力 便秘 腰痛 美容	・体幹を鍛える事で基礎代謝が向上、リバウンドしにくい体になる ・10分の運動によって100kcal消費する運動となる（ランニングと同程度のおおひり消費） ・骨盤付近の筋力を使う事でインナーマッスルを強化、くびれが作れる
單車リフティング	肥満 筋力 便秘 腰痛	・体幹を鍛える事で基礎代謝が向上、リバウンドしにくい体へ ・腰腰筋を使う事で便秘、腰痛の予防へ ・骨盤のゆがみを整えて下半身の筋肉を動かすことで、下半身のむくみ解消にもつながる
かかとなしスリッパの着用	筋力 美容 腰痛	・つま先立ちで腰筋、背筋の強化が期待できる ・姿勢（O脚の改善）や冷え性の改善も期待できる ・股関節が伸びることで姿勢がよくなり、溜骨が改善し、それによってお腹痩せ効果も期待できる

食事部門		
内容	改善が期待できる項目	効果
1日の食事を振り返り、1番悪いと考えられる食べ物を記入する	生活習慣病 肥満 血糖値	・一番悪い食品を自分で判断・記入することで、食生活の見直しに繋がり、結果に良い食品を積極的に取り入れるようになる。
食事をとる際に、野菜から順に食べていく	生活習慣病 肥満 血糖値	・血糖値の急激な上昇を防ぐ ① 腸壁への負担を減らし、糖尿病の予防・改善へ ② インスリンの分泌量を抑制することで、アルツハイマー病や肥満の予防・改善へ ※インスリンの働き..糖をエネルギーに、余分な糖を脂肪に変える
午前中はフルーツだけを食べる	血糖値 生活習慣病 便秘 高血圧 がん 美肌効果 ダイエット	果物はGIが40程度であるということ、豊富な食物繊維が含まれているため、血糖値の上昇を抑制する効果がある。大部分が水分であるため80kcal程度（ショートケーキの15%程度）と低カロリーである。 人体における最も浄化・排出力が高まる時間帯は、午前4時～正午までである。このような効果をもつフルーツを、朝摂取することで、身体の浄化・排出力を高めることができ、結果として生活習慣病などの予防へとつながることができる。
野菜・海藻・きのこ類を意識的に摂取する	肥満 生活習慣病 血糖値	・毎日野菜を300g以上取ることで将来における生活習慣病による死亡リスクを20%抑えることができる。 ・この生活を続ければ体重が平均して5kg以上減少する。
甘味飲料（缶コーヒーやジュース）を無糖（ブラックコーヒーや茶）に変える	血糖値	・コーヒーには血糖値を下げる効果がある ・コーヒーに含まれる「クロロゲン酸類」に食後の血糖値上昇を抑えられる効果が期待できる ・甘味飲料を無糖にすることで摂取する糖質を抑える例）缶コーヒーの場合 ノーマル 約10-15g 無糖 約5-6g 一糖糖 12g/0g

試行実験から見たこと

- 短期間(1~2週間)のプログラム実施でも、従業員の健康改善活動の土台作りは可能
- 脱落者が少なく継続率が高いのはグループでの取り組み実施(個人よりも)

→参照論文(ひいてはそれに依拠する本提言)の有効性を確認!

私たちの活動が直面する課題

- 健康改善活動の企業利益を可視化した。
- 健康改善の実現性も確認した。
- にも関わらず、企業は健康改善活動実施に、一歩踏み出せずにいる。
→現在、県内企業に試行実験の協力を仰いでいるが、応じていただけたのは1社のみ。
- また、従来から、特に中小企業の健康改善活動は低調

健康改善活動の進展を阻む何らかの構造的な問題が存在しているのでは？

3.問題の特定

企業(特に中小企業)の健康改善活動の難しさを端的に分析、問題を探る。

SROIによる社会的な費用と利益の試算

- 私たちは、「SROI(Social Return on Investment)」の考え方で、職場での健康改善活動による社会的な費用と利益を貨幣換算で試算した。
- 試算の前提は、協会けんぽ青森支部に属する全事業所(15,486社)のうち10%(1,549社)と全被保険者(248,475人)のうち10%(24,848人)が健康職場プログラムに参加したものである。(平成26年4月時点での統計データをもとに作成。)

※相対的に規模の大きな事業所が10%が参加したとすると、その対象である被保険者は10%を上回る。すると以下の試算結果はより大きなものとなる。

- ここから、健康改善活動の難しさの**根本的な原因**が、明らかになる。

表A SROIに基づく健康職場プロジェクト試算結果

ステークホルダー	アウトプット	説明	アウトカム	指標	[A]全経的代理指標	[A]の信頼源
企業	曹森基協会けんぽ加入事業所 事業所数(15,486社) 被保険者数(248,475人) うち10%が参加	生産性の向上	プレゼンティーズム		<ul style="list-style-type: none"> +生産性(5.2%→4.2%) +従業員の平均年収×生産性変化量×人数 3,585,900×(5.2%-4.2%)×24,848人 =891,272,912円 	<ul style="list-style-type: none"> +賃金構造基本統計調査(H26年度) 曹森基平均年収:3,585,900円 +健康日本21推進フォーラム プレゼンティーズム:5.2% (4.2%に低下すると仮定)
		人材確保	新規従業員数(人)		<ul style="list-style-type: none"> 100社に1人、新規従業員が増えた場合 初任給(平成26年度)×12カ月×事業所数÷100 188,25(円)×12×1,549社÷100 =34,991,910円 	<ul style="list-style-type: none"> +賃金構造基本統計調査(H26年度) 新規採用別みた初任給 男女計 中小企業の中央値 (大学院修士、大学卒、専門学校) 188,25(円)
従業員		健プロ実施費用(時間コスト)	アクションリストの実行		<ul style="list-style-type: none"> 一日10分アクションリスト実施に時間を費やしたとする その時の費用は 時給(年収を時給換算したもの)×10分×30日×12カ月 1,228円×10分/480分×30日×12カ月 =9,210円 年間アクションリスト実施費用×被保険者数 9,210円×24,848人 =228,850,080円 	<ul style="list-style-type: none"> +協会けんぽ(曹森支部)月報 一人当たり医療費(4月):13,562円 +協会けんぽ(長野支部)による 2025年度 診療費総額(長野県) 医療費(円/人)(4月):12,523円 付帯+自己負担、また金額は月額 法基本統計調査(H26年度) 標準平均年収:3,585,900円 労働基準法により労働時間8時間 3,585,900円÷365日÷8時間=1,228円
		医療費の削減	協会けんぽ加入者の一人当たり医療費		<ul style="list-style-type: none"> 一年間の一人当たりの医療費削減費 (13,562円-12,523円)×12カ月×24,848人 =309,804,864円 医療費のうち3割が自己負担であるため 309,804,864円×0.3 =92,941,459円削減 	
協会けんぽ		財政赤字の削減	協会けんぽ加入者の一人当たり医療費		<ul style="list-style-type: none"> 従業員 医療費の削減の全経的代理指標から 医療費のうち7割が協会けんぽによる保険給付であるため 309,804,864円×0.7 =216,863,404円の財政赤字削減 	
政府		税収の増加	法人税		<ul style="list-style-type: none"> 協会けんぽに所属する企業のうち、生産性の向上による 所得金額が増加したとする。 またこの時の協会けんぽに所属する企業の法人税率は 15%と仮定する。 全事業所の生産性の向上×15% =891,272,912円×0.15 =133,690,937円 	<ul style="list-style-type: none"> +法人税率の違い(平成27年9月現在) 所得金額800万円以下:15% 800万円以上:23.9% 法人税額=法人税率×所得金額
			所得税		<ul style="list-style-type: none"> 協会けんぽに所属する従業員1000人のうち1人が 所得金額が330万~695万円になったとする 仮に400万円になったとして 所得税増額:24,848人÷1000人 ×[400万円×0.20-427,500円] =9,255,880円 	<ul style="list-style-type: none"> +所得税率の違い 所得金額 330万~695万円以下 税率:20% 控除額:427,500円

8億円

3千万円

2億円

9千万円

2億円

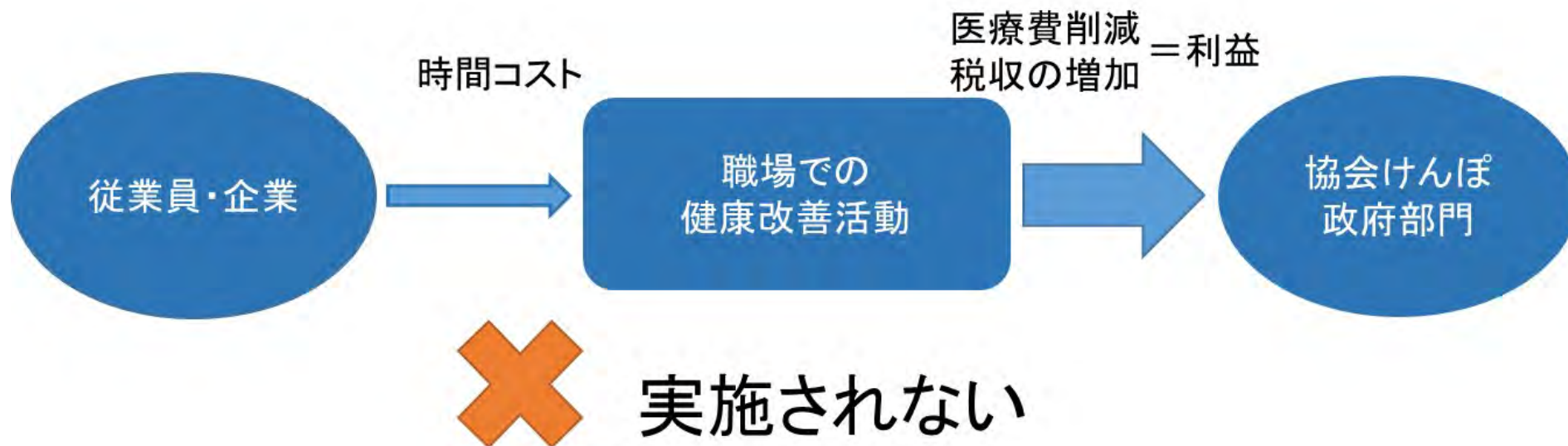
1億円

9百万円

※1 表にある網掛け部位はコストを表す。その他は利益である。
 ※2 コストを計算する際には、年収を時給換算して試算した。

なぜ企業（特に中小企業）は健康改善活動に参加しないのか？

→従業員・企業はコストを負担する一方で、外部に発生する利益は企業に内部化出来ないから！



逆に、利益の外部性を内部化することができれば、企業の参加インセンティブを高めることが可能！

金利優遇で参加インセンティブは確保できるか？

- 既存の、参加インセンティブのために金融機関がとりうる手法は「金利優遇」
- しかし、**現状の低金利下**では「金利優遇」は力不足
(先進企業へのインタビュー調査からも分かる)

→既存の手法の先にある、**新しいシステム**を構築する必要がある

4. 私たちの提言

健康改善をもたらすシステムを提案し、企業の「潜在力」を取り戻す

① 健康改善プログラム(参照論文の提案を進化させたもの)を企業・従業員に提示する

② 外部性を内部化するために、ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)の仕組みを用いる

→ここで使われるSIBを「健康職場SIB」、これを含む提言全体を「健康職場プロジェクト」と呼ぶ

健康職場プログラムの実施内容

- このプログラムは全体を3期に分けて構成されている。
- 第1期で活動の基盤を作ることがこのプログラムの特徴である。
- 第1期～第3期の実施活動内容は以下の通りである。

第一期～第三期のプログラム実施内容

第1期	取り組み開始～6か月	第2期	7～18か月	第3期	19か月目以降
目的	健康へ関心を持ってもらい、従業員同士の交流のきっかけづくり	目的	会社に行くことで健康になる健康優良職場の確立を目指す	目的	第2期までの取り組み継続と、結果の評価
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ(3～5人)を作り、健康に向けた取り組み一覧(アクションリスト)から1つを選択 ・定期的に保健師などからアドバイスをもらう ・グループ間での交流、地域のイベントへの参加(マラソン大会etc) 	取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社内全面禁煙のサポート 例)禁煙補助薬の使用、専門家の派遣 ※禁煙の取り組みは経営者の判断に委ねるが、禁煙の経済効果は多大なので推奨する ・アクションリストの実施(半年に1個増やしていき、最終的には4つ取り組む) ・35歳以上の従業員にがん検診、健康診断を義務付けている ※18か月以内に80%の達成率が基準 ・35歳以下の従業員にも別途健康教育を行っている ・グループ間での交流、地域イベントへの参加 	取り組み内容	<p>血圧、血糖値、BMI、健康テストの点数から総合的に評価する。</p>
啓発・表彰	<ul style="list-style-type: none"> ・健康への啓発に取り組む 例)事前アンケートの実施、ポスターの掲示 ・経営者が優秀なグループを表彰、景品の贈呈(未定) 	認証	上記の項目を18か月間で達成できた企業を健康優良職場(シルバー)として認証	認証	上記の3項目で以前より改善、あるいは基準以上の成績をテストで残した企業を健康優良職場(ゴールド)として認証
認証	上記の取り組みを達成した企業を健康優良職場(ブロンズ)として認証				

ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)とは

- 定義:

社会的課題の解決と行政コストの削減を同時に目指す手法で、民間資金で優れた社会事業を実施し、事前に合意した成果が達成された場合、行政が投資家へ成功報酬を支払うもの

出典:「Social Impact Bond」 (<http://socialimpactbond.jp/sib/>)

→投資家から社会事業の資金を集め、投資家は行政から収益を得る仕組み

- 先行事例:大腸がん検診の受診勧奨事業など

健康職場SIBの一連の流れ

- 提言に関与するのは、従業員・企業・政府部門・協会けんぽ・投資家の5主体である。健康職場SIBの一連の流れは以下の通りである。

導入

- 参加インセンティブとして、参加従業員に住民税均等割5か月相当分金額を支給する
- (SIBを発行して投資家から調達した資金から提供する。また、支給方法は意欲を高めるよう工夫)

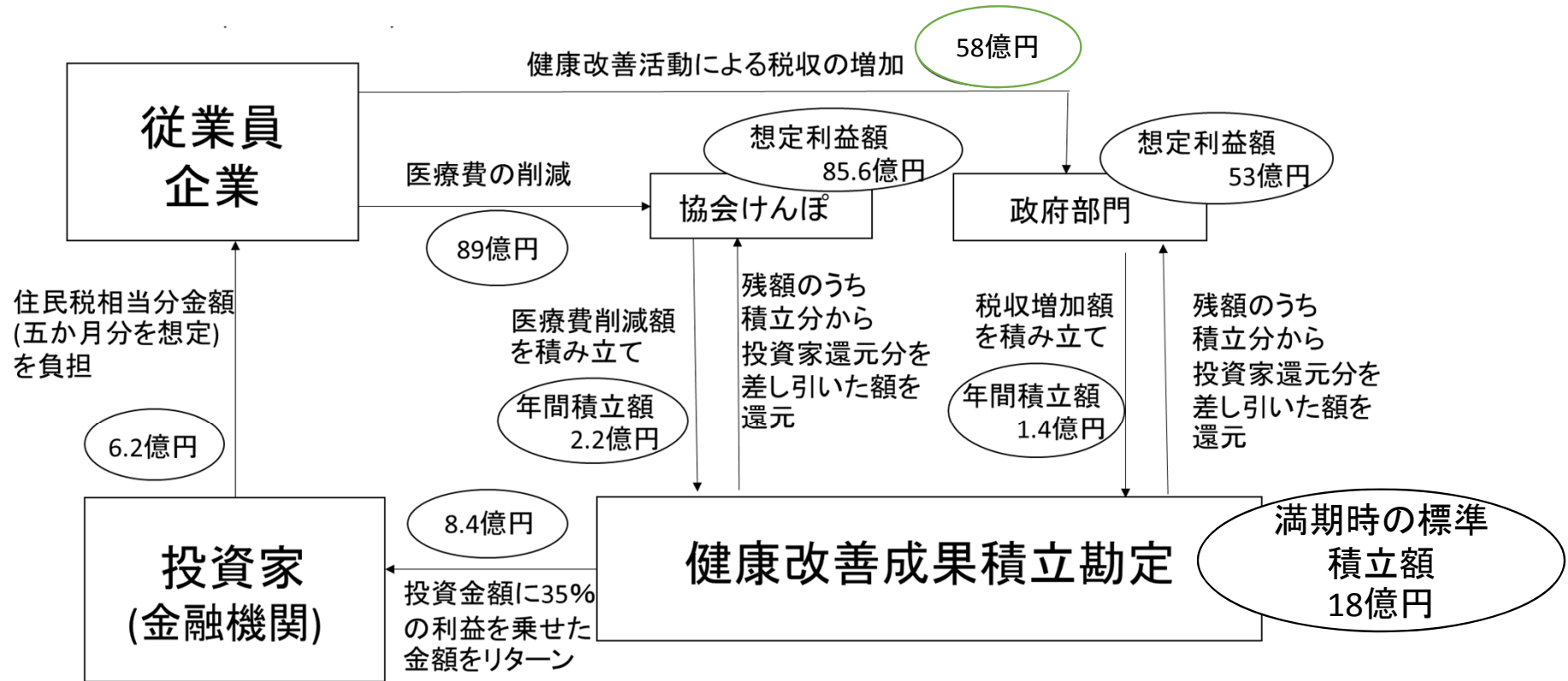
中盤

- 政府部門・協会けんぽは、プログラム開始10~15年後の間、「健康改善成果積立勘定」に創出した利益を積立していく
- 利益が創出されない期は積み立ては不要(これにより、政府部門・協会けんぽの参加インセンティブを高める)

終盤

- 5年間で積み立てた勘定の一部(投資家の元本+利益(元本の35%))を償還する
- 勘定の利益残余分は政府部門・協会けんぽに還元する
- (5年間の利益創出額が期待値以下の場合も、勘定を用いて投資家へ元本の一部を返還するため、投資家の参加インセンティブも高めることが可能となる)

健康職場SIBにおける資金の流れ



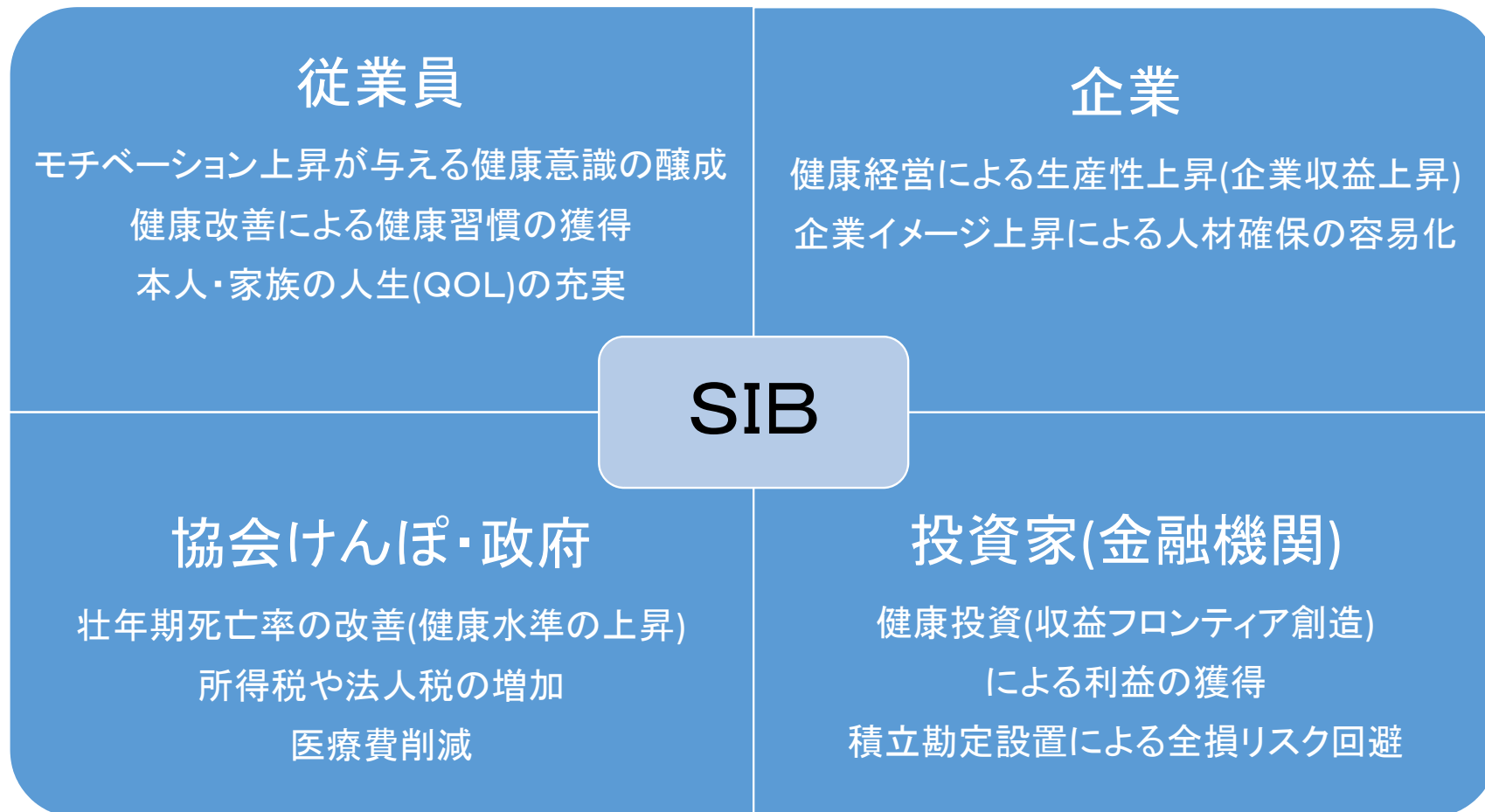
※図中の数字は、青森県で本提言を実施した場合に想定される各主体への金銭の動きを示している

5. 期待される効果

このシステムのポイントは投資家の役割にある。投資家(金融機関)は包括的に新システムを構築し、資金を提供することで、対価としての利益を受け取る

これこそが私たちが目指す収益フロンティアの創造である

• 各主体が獲得できる効果・利益



従業員・企業・協会けんぽ・政府が獲得する利益

①従業員が獲得する利益

健康改善の健康的な習慣を身につけることで、健康体を獲得することができる。モチベーションが上昇し、健康意識を醸成できる。

②企業の獲得する利益

健康経営による生産性上昇(企業収益上昇)はもちろん、企業のイメージが上昇することで、より優秀な人材を容易に確保することができる。

③協会けんぽ・政府の獲得する利益

壮年期死亡率の改善や所得税・法人税の増加、医療費削減など、多大な利益を獲得することができる。

投資家（金融機関）が獲得する利益

- 積立勘定設置による全損リスク回避はもちろんだが、本プロジェクトにおける投資家（金融機関）の獲得する最も大きな利益は、「新たな収益フロンティアの創造」である。
- 「健康職場SIB」「健康職場プロジェクト」のシステムを包括的に構築し、資金を提供して、リスクを負担することで対価としての利益を受け取る。
- 金融機関が切望する、収益機会の獲得（利益が見込める資金投資先の確保）への突破口の一つとしたい。

6. 先行事例との異同

先行事例との異同を明らかにする

① 先行する健康融資制度との異同

- 先行する健康融資制度の代表例として、健康経営評価を一定以上満たした企業へ金利優遇を行う「健康評価型」(広島銀行＝協会けんぽ広島支部が実施)のシステムがある。
- 本提言は、地域ぐるみの健康改善活動実施により日本一の長寿県達成を果たした長野県の経験に学び「健康改善実施型」を採用した。
- 共通点：健康経営への取り組みを促進・支援している
- 相違点：運動や食事含めた健康改善活動の実施の有無

②先行するSIB事例との異同

- 先行事例は、事業遂行にかかる**物理的コストの資金調達**を目的としている。

例：がん検診受診推奨のための通信費・人件費など

- 本提言は、**外部性の内部化**を目的に、事業ターゲット主体に対する支給金の給付など、資金利用の幅を拡大している。

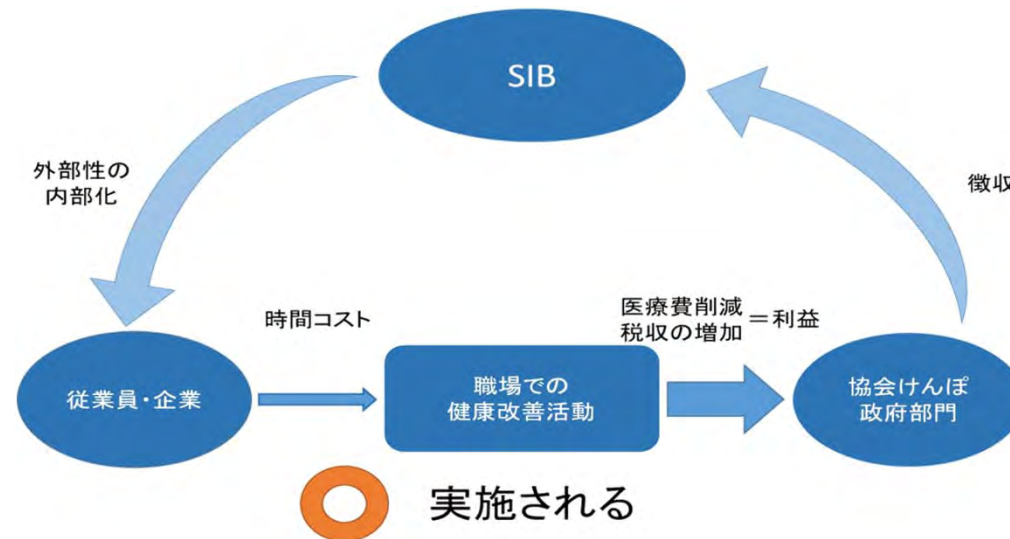
例：活動の参加本人に対する参加インセンティブの付与

- 共通点：金融スキームを社会的事業に利用
- 相違点：私たちは**SIBのより広範な利用**を提言する

SIBを媒介とした健康改善活動の外部性の内部化

SIBが持つ、異時点間の資源配分という機能には、外部性を内部化する「潜在力」がある。

この「潜在力」を全面的に活用、リスク移転する。



健康改善活動がもたらす利益の大きさ

社会的インパクト評価SROIによる健康職場プロジェクトの総便益、総費用は以下のとおりである。(表Aはその内訳である。)

総便益 **1,379,016,504円**

総費用 **228,850,080円**

(一年あたり金額)

表A SROIに基づく健康職場プロジェクト試算結果

ステークホルダー	アウトプット	説明	アウトカム	指標	[A]全経的代理指標	[A]の信頼源
企業	曹森基協会けんぽ加入事業所 事業所数(15,488社) 被保険者数(248,475人) うち10%が参加	生産性の向上	プレゼンティーズム		<ul style="list-style-type: none"> 生産性(5.2%→4.2%) 従業員の平均年収×生産性変化量×人数 3,585,900×(5.2%-4.2%)×24,848人 =891,272,912円 	<ul style="list-style-type: none"> 賃金構造基本統計調査(H26年度) 曹森基平均年収:3,585,900円 健康日本21推進フォーラム プレゼンティーズム:5.2% (4.2%に低下すると仮定)
		人材確保	新規従業員数(人)		<ul style="list-style-type: none"> 100社に1人、新規従業員が増えた場合 初任給(平成26年度)×12カ月×事業所数÷100 188,25(円)×12×1,549社÷100 =34,991,910円 	<ul style="list-style-type: none"> 賃金構造基本統計調査(H26年度) 業種別初任給 男女計 中小企業の中央値 (大学院修士、大学卒、専門学校) 188,25(円)
従業員		健プロ実施費用(時間コスト)	アクションリストの実行		<ul style="list-style-type: none"> 一日10分アクションリスト実施に時間を費やしたとする その時の費用は 時給(年収を時給換算したもの)×10分×30日×12カ月 1,228円×10分/480分×30日×12カ月 =9,210円 年間のアクションリスト実施費用×被保険者数 9,210円×24,848人 =228,850,080円 	
		医療費の削減	協会けんぽ加入者の一人当たり医療費		<ul style="list-style-type: none"> 一年間の一人当たりの医療費削減額 (13,562円-12,523円)×12カ月×24,848人 =309,804,864円 医療費のうち3割が自己負担であるため 309,804,864円×0.3 =92,941,459円削減 	<ul style="list-style-type: none"> 協会けんぽ(曹森支部)月報 一人当たり医療費(4月):13,562円 協会けんぽ(長野支部)による 25年度 医療費削減率(長野県) 医療費(円/人)(4月):12,523円 付帯+自己負担、また金額は月額 法基本統計調査(H26年度) 曹森基平均年収:3,585,900円 曹森基連法により労働時間8時間 3,585,900円÷365日÷8時間=1,228円
協会けんぽ		財政赤字の削減	協会けんぽ加入者の一人当たり医療費		<ul style="list-style-type: none"> 従業員 医療費の削減の全経的代理指標から 医療費のうち7割が協会けんぽによる保険給付であるため 309,804,864円×0.7 =216,863,404円の財政赤字削減 	
政府		税収の増加	法人税		<ul style="list-style-type: none"> 協会けんぽに所属する企業のうち、生産性の向上による所得金額が増加したとする。 またこの時の協会けんぽに所属する企業の法人税率は15%と仮定する。 全事業所の生産性の向上×15% =891,272,912円×0.15 =133,690,937円 	<ul style="list-style-type: none"> 法人税率の違い(平成27年9月現在) 所得金額800万円以下:15% 800万円以上:23.9% 法人税額=法人税率×所得金額
			所得税		<ul style="list-style-type: none"> 協会けんぽに所属する従業員1000人のうち1人が所得金額が330万~695万円になったとする 仮に400万円になったとして 所得税増額:24,848人÷1000人×[400万円×0.20-427,500円] =9,255,880円 	<ul style="list-style-type: none"> 所得税率の違い 金額=利益-損失金額 所得税 所得税の差額 330万~695万円以下 税率:20% 控除額:427,500円

8億円

3千万円

2億円

9千万円

2億円

1億円

9百万円

※1 表にある網掛け部位はコストを表す。その他は利益である。
 ※2 コストを計算する際には、年収を時給換算して試算し、

7. 将来の展望

SIB市場のさらなる拡充・発展へと、さらに一步を踏み出すこと。
これこそが、私たちの目指す将来の展望である。

- 青森県の抱える、壮年期死亡率が非常に高いという深刻な問題の解決を図るとともに、私たちは、**SIB市場のさらなる拡充・発展**も目指している。
- **他都道府県**へ健康職場SIBを**波及・定着**させる。また、健康分野のみならず**他分野**へ**SIB市場**を展開することで、**SIB市場サイクル**を形成することが、私たちの将来の展望である。

- 私たちは、「先進国における収益機会の喪失」と「企業の健康改善活動の難しさ」という2つの問題を同時解決しようと、無我夢中で新しい大陸への航路を考えてきた。
- いま、私たちは岸を離れたいと考えている。
- もし、とくに金融機関のみなさんが私たちに可能性を感じるなら、私たちの航海を手助けしてほしい。